

2級における連結会計の出題開始時期の明確化について

平成 28 年 12 月 1 日
日本商工会議所

日本商工会議所は、去る平成 27 年 4 月 1 日に「商工会議所簿記検定試験出題区分表」を改定し、新しく 2 級の範囲に追加される事項については平成 28 年度から段階的に適用することを表明しました。「リース取引」「外貨建取引」「連結会計」などに関しては、平成 29 年度に施行される検定試験より試験範囲に含まれることとなります。

その中で、連結会計については、2 級の学習者にとって学習時間を要する論点であることに加えて、平成 29 年度の試験範囲に対応したテキストや問題集などが刊行されるのが平成 29 年 3 月頃になることが予想されますので、学習者だけでなく、指導者にとっても時間的な余裕が乏しくなるかと思われます。そのため、学習者の学習や指導者の準備を考慮し、平成 29 年度からの新論点に関し、どの時点から出題するか時期をより明確化することとしました。すなわち、連結会計に関しては、平成 29 年 11 月施行の第 147 回検定試験以降に出題することといたします。また、連結会計以外のリース会計や課税所得の算定、圧縮記帳および外貨建取引などについては、平成 29 年度の当初から出題範囲に含めます。

以 上